

令和2年度芦屋市環境マネジメントシステム実施結果報告書

1 目標の達成状況

(1) 目標

- ①温室効果ガス総排出量：令和2年度までに基準年度比5%以上削減
 - ②エネルギー使用量：令和2年度までに基準年度比5%以上削減
- ※基準年度：平成26年度

(2) 達成状況

今年度は第4次芦屋市環境保全率先実行計画の最終年度であり、計画の評価を実施しました。その結果、エネルギー起源温室効果ガス排出量は基準年度比30%減となり、目標を大きく達成しております。さらに、エネルギー使用量は6%減となり、目標を達成しました。これら達成の要因としては、省エネ設備の導入によるエネルギー使用量の削減や、二酸化炭素排出係数の低い電力の購入によるものだと考えられます。

令和2年度4月～12月のエネルギー使用量は、新型コロナウイルス感染症対策の影響を大きく受けた結果となりました。結果として、基準年度比7.2%減（令和元年度は、5.0%減）となっています。

※第1四半期（4月～6月）は基準年度比16.2%減
(施設閉鎖による影響)

※第2四半期（7月～9月）は基準年度比1.2%減
(換気を併用した空調の使用等による影響)

※第3四半期（10月～12月）は基準年度比5.3%減
(ほぼ例年どおり)

令和3年度以降は、第5次芦屋市環境保全率先実行計画に基づき、エネルギー使用量の削減と温室効果ガスの削減をより一層進めてまいります。

2 内部監査の結果について

別紙2「令和2年度内部監査結果報告書」のとおり

3 環境関連法規制、環境関連情報及び社会的動向について

別紙3「環境関連法規制、環境関連情報及び社会的動向」のとおり

4 EMS改善のための提案

EMSの実施状況及びEMS内部監査結果等により、次のとおりEMS改善の提案をします。

- (1) 各公共施設での空調管理及びエネルギー使用量の把握を徹底すること。(継続)
- (2) 平成29年度に実施した省エネ診断結果を活用し、さらなる節電や省エネ、温室効果ガス排出量の削減に努めること。(継続)
- (3) 公共施設の電力調達の推進については、「芦屋市電力の調達に係る環境配慮指針」に基づく電力調達を実施するため、関係各課と調整を行い、計画的に電力調達を実施すること。(継続)

5 その他

別紙4「自治体間相互監査の結果」のとおり

以 上